

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

11月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

日本肝臓学会医療従事者向け講座が開催されました

10月14日、医療従事者向け講座“肝がんゼロを目指して”肝疾患診療のup to dateが山鹿市民医療センターで開催されました。これは日本肝臓学会および熊本県肝疾患診療拠点病院（熊本大学病院）が主催するもので、毎年秋に熊本県の9会場で行われています。

今年は熊本大学消化器内科 立山 雅邦先生にご講演頂きました。立山先生は2009年から約8年、当センター消化器内科で外来や内視鏡をされていたので、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、肝疾患のエキスパートで、私の尊敬する医師100選にも入る大先輩です。

講演は、ウイルス性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、熊本県の取り組みなど幅広い内容でした。具体的な内容を少しだけご紹介させていただきます。



肝臓がんの原因は、以前は圧倒的にC型肝炎が多く80%を占めていました。しかし、DAA（直接作用型抗ウイルス剤）の登場で今では治る病気となり、治療が進み、近年は20%未満で今後さらに減少すると思います。しかし、ウイルスが消えても肝臓がんになる可能性は0%にはならないのでfollowは重要です。

B型肝炎は、核酸アナログ製剤を内服している間、ウイルス駆除はできませんが増殖抑制はできます。しかし内服を中断すると再び増悪するため長期間の内服が問題点です。近年、根本的にウイルスを駆除する治療薬が研究されており、臨床で使用できる可能性が高くなりました。核酸アナログ製剤使用中の患者様には吉報になるかもしれません。

今後、増えるのは非アルコール性脂肪肝炎（NASH）です。肥満症例はまずダイエット、高血圧・脂質異常症・糖尿病など合併症例はその治療が重要です。

肝炎ウイルス検査は申請すると無料で受けられます。治療も助成金が出る為、検査を受けたことがない方には是非検査をお勧め下さい。

今回はコロナの影響か、参加された先生が少なく寂しい感じでした。肝疾患治療も少しずつup dateされます。講演会は毎年ありますので是非ご参加ください。

目指しましょう！肝がんゼロの世界を！！

(文責：消化器内科長 本原 利彦)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

肝がん撲滅運動医療従事者向け研修会……	P 1
薬剤科紹介……	P 2
医療最前線……	P 3
外来担当医表 (11月)……	P 4

薬剤科を紹介させていただきます

当センターの薬剤科は、薬剤師7名、薬剤助手2名の体制で患者さまが使用されるお薬を正しく安全にそして有効に使用して頂くために薬に関する様々な業務を行っています。業務内容は、医師の処方箋に基づく調剤業務を初め注射薬調剤、医薬品の在庫管理・情報管理などの通常業務の他、抗がん剤調整、薬剤管理指導業務（入院患者さまの服薬指導・薬歴管理）、DIニュース、持参薬鑑別を行っており、殆どの業務で取り扱い件数が年々増加傾向にあります。また、院内での連携として各種チーム医療に積極的に参加し、NST・ブレストケア・糖尿病対策・緩和ケア・ス टीमケア・院内感染対策など総合的な薬剤利用の医療連携を図っています。

薬学生実習受け入れでは、薬学6年制における長期実務実習（11週）を毎年受け入れております。また、自己研鑽の取組みとして、当センターの医療研修センター研修プログラムの一環として、薬剤師会の協力のもと薬剤師公開研修会を年2回開催しています。毎回、多数の調剤薬局・病院薬剤師の先生方にご出席頂いております。今後ともご参加の程よろ



クラス2安全キャビネット

しくお願いいたします。その他、各種学会・セミナー・研修会への参加・発表 など多岐にわたって研鑽を積んでいるところであります。

以上ご紹介しましたとおり、少ない人員ではありますが、微力ながら当センターの基本理念であります「地域住民の生命と健康への貢献」をモットーに日々努力しているところであり、今後とも病一薬：薬一薬連携を深めていきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

●認定薬剤師は、日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師 日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 日本糖尿病療養指導士 熊本県薬剤師会災害支援薬剤師 熊本県肝疾患コーディネーターです。

(文責：薬剤科長 金森 浩明)



散剤棚

医療最前線 (136)



高齢者の上腕骨通顆骨折

整形外科

荒木 崇士 先生

○概要

馴染みのない名前かもしれませんが、肘関節周囲骨折の一つで、上腕骨遠位部で関節内のより遠位部に横骨折が及んでいるもの（内側上顆から外側上顆を貫く骨折となることが多い）が分類されます。上腕骨遠位部骨折は他にも顆上骨折、顆間骨折、内側上顆骨折など骨折部位の通称で呼ぶことが多くあります。今年4月から既に4例の手術を当院で施行しており、今後も増える可能性もあることから、今回ご紹介させていただきます。

○疫学・特徴

上腕骨遠位部骨折は全骨折の約2-6%、成人の肘周囲骨折の30%程度といわれます。受傷機転/発症年齢では、高所からの転落、交通事故などの高エネルギー外傷では若年者が多い一方、ささいな転倒で直接肘関節を打撲したり、手関節を付いて捻ったりするような比較的小さい外力が加わった場合には高齢者に多く発生します。このうち高齢女性は骨脆弱性を基盤としているため、しばしば治療に難渋することがあります。高齢者における上腕骨通顆骨折の特徴として、(1) 骨粗鬆症による骨脆弱性が必ず存在すること、(2) 関節包に囲まれた関節内骨折であり骨癒合が得られにくいこと、(3) 骨折面の接触面積が小さく不安定であること、(4) 遠位骨片に回旋力が加わりやすいこと、(5) 骨周囲の軟部組織が乏しいこ

となどが挙げられます。これらにより骨遷延癒合や偽関節を起こし、難治性骨折となるため、強固な内固定を要します。また、高齢者に続発しやすい全身合併症の併発、周辺関節の可動域制限、認知機能低下などで外固定維持やリハビリテーションへの理解などが困難な場合もあり、成績不良因子となります。

○治療

骨折部の転位がないかわずかの場合はギプスや装具による治療を行うこともあります。しかしながら上記の理由から全身状態不良な場合を除き、大多数は手術適応となります。手術の目的は、関節面を含む上腕骨遠位部をなるべく解剖学的に強固に再建して骨癒合を目指し、術後早期より可動域訓練を開始して機能回復を目指すことです。手術はプレートやスクリューなどを用いて整復固定しますが、症例によっては粉碎が高度で、軟部組織の腫脹が強く、整復位保持が困難であれば創外固定を装着して、二期的手術をすることもあります。手術方法には後方アプローチ、内外側からの両側アプローチなどがあり、腹臥位、または側臥位で施行します。粉碎が強い症例では肘頭を骨切りし、骨折部を直視下に整復固定する必要があります。リハビリテーションは種々の症例により調節が必要ですが、術後は2週程度ギプスシーネ固定とし、初期固定性が良好であれば術翌日から、作業療法士と一緒に肘関節、前腕の自動運動を開始します。適宜単純Xpで骨折部の確認を行いながら、術後4週をメドに愛護的な他動運動や筋力強化訓練を開始していきます。患者さまがいましたらいつでもご紹介いただければ幸いです。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

11月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇土/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇土 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※ 非常勤医師	—	※ 非常勤医師	—
小児科	※ 石井 真美 9:00~16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00~16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セン タク ー 器	耳鼻咽喉科	—	※ 非常勤医師	※ 非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
※片渕美和子(午後) 11/2(火)、9(火)、11(木)、16(火)、25(木)、30(火)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	整形外科医	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

11月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※ 石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	11/2(火)、9(火)、11(木)、16(火)、25(木)、30(火)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意: 学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>